

20mからはじまるファニチャー

the furniture starting from 20meter

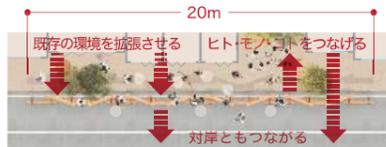
茶沢通りの特徴
650mのストレート・ストリート

茶沢通りの特徴として、曲がりやが少なく、直線性の強い道であることが挙げられる。そんな道に沿って多様な場所や店舗が連なり、人が往来する風景が、このまちの象徴であると考えられる。



コンセプト
20mのストレート・ファニチャー

この風景を助長させ、また、ヒト・モノ・コトを結び付けるきっかけとなるようなファニチャーを提案する。約20mにわたり、1つのファニチャーを介して生れる「喜び」の風景が、そこにはある。



ミライを考える
ミライに合わせて伸縮できるフレキシブルさ

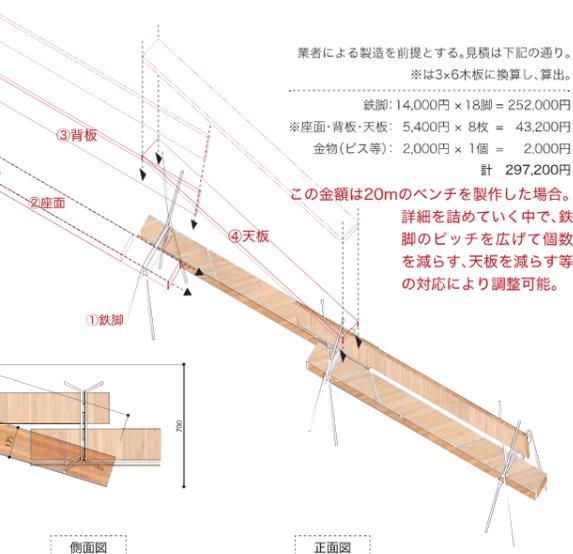
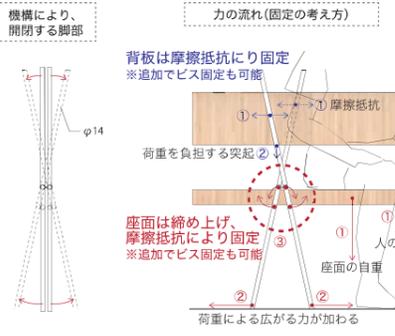
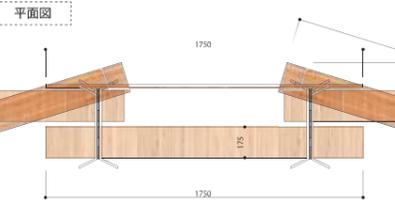
小さい部材を組み立てるシンプルな構成のため、「三茶のミライ」に合わせて変容するフレキシブルさがある。長期的な視点で、少しずつ伸ばすことも可能であるし、イベントに合わせて小単位を散りばめることも可能である。



展開・撤収方法
誰でも簡単に組み立てられるシンプルさ

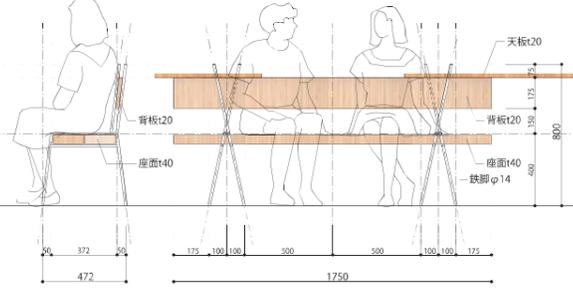
ヒンジ機構により開閉するX字の鉄脚は、自重+荷重で木部を締め上げ、摩擦抵抗で固定させる。ビスを打たずとも定着するため、軽量で、組立・解体・更新が簡単な構法である。

- | 組立の流れ | 部材リスト |
|----------|------------|
| ①鉄脚を開く | ①鉄脚:18脚 |
| ②座面を差し込む | ②座面:17枚 |
| ③背板を差し込む | ③背板:9枚 |
| ④天板を差し込む | ④天板:8枚 |
| 以降、繰り返し | その他:固定用ビス等 |



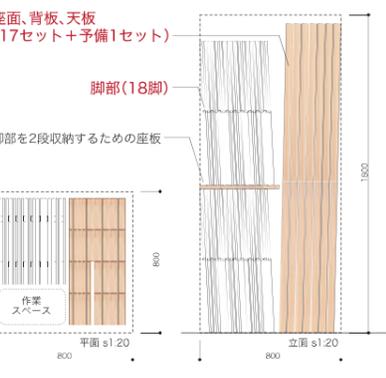
業者による製造を前提とする。見積は下記の通り。
※は3×6木板に換算し、算出。
鉄脚: 14,000円 × 18脚 = 252,000円
※座面・背板・天板: 5,400円 × 8枚 = 43,200円
金物(ビス等): 2,000円 × 1個 = 2,000円
計 297,200円

この金額は20mのベンチを製作した場合。詳細を詰めていく中で、鉄脚のピッチを広げて個数を減らす、天板を減らす等の対応により調整可能。



収納方法
限りある収納スペースを余すことなく

バラバラに解体して収納できるため、限られた収納スペースを余すことなく活用することができる。また、1つ1つのパーツが軽いので、こどもと一緒に、楽しく片付けできる。



このファニチャーは、多様な使い方を誘発し、連続した風景を創出していく。
気軽に腰を掛けれる、憩いのベンチとして
見通しが良く、開かれたデザインであるため、老若男女、誰もが気軽に居場所を見つけ、利用できる。
コミュニティ創出の起点として
随所に天板が設けられているため、長期滞在しやすい仕掛けを用意している。コーヒーや軽食を置いて井戸端会議をしたり、フリーマーケットをしたり、コミュニティを育てていく。
既存店舗等の拡張空間として
例えば、カフェの屋外席として、または、物販の屋外売り場として等、既存施設を開き、まちとの関係をより密接にする活用方法もある。
三茶の広告塔として
どこまでも続くような、ひとつながりのファニチャーが創り出す風景は、三茶のアイデンティティやこのまちのポテンシャルを表現するショーウィンドウとなり、魅力を発信していく。

ミライを考える
役目を終えても、次の人生へ

木材部分は十分な厚みを確保しているため、経年劣化しても、その部分を削ぎ落とすことで他用途に転用できる。新たな姿となって「三茶のミライ」を支え、同時に、「地球のミライ」にもつながっていく。



モックアップ検証①
2人で迅速に組み立てられる機能性 1/1で作成し、組み立てやすさの検証を行った。1脚を2分ほどで組み立てることができ、軽量であるため、女性や子供と一緒に組み立てられることも確認できた。



モックアップ検証②
2人が飛び跳ねても壊れない安全性 様々なパターンを想定し、検証した。

